

〔団体の概要〕(NGO/NPO用)

団体名	特定非営利活動法人教育支援協会		
所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目2番地5号御成門郵船ビル TEL: 03-3434-0352 FAX: 03-3434-0353 E-mail: super-k12@mua.biglobe.ne.jp		
ホームページ	http://www.alc.co.jp/oss/oss4/super.html		
設立年月	1997年 3月 * 認証年月日(法人団体のみ) 99年 6月 日		
代表者	吉田博彦	担当者	須田正則
組織	スタッフ	4名(内専従	4名) 事務所
	あり・ あり	正会員	40名(内訳:個人16名 / 団体・法人24名) 賛助会員132名(内訳:個人122名 / 団体・法人10名) その他会員0名
設立の経緯	教育改革の実現を目指す代表理事ら呼びかけに応じた数名の民間教育関係者たちで97年3月東京都港区東新橋に任意団体を設立。教育シンポジウムの開催などの準備を進めながら98年12月に特定非営利活動法人の申請を開始。99年6月経済企画庁よりNPOとしての認証を受ける。		
団体の目的	「生きる力の育成や過度の暗記型学習の弊害是正」を目的とした教育改革を実現するため、この目的達成を願う国民に広く呼びかけ必要な教育資源の開発・研究に取り組む。		
団体の活動プロフィール	<p>野外体験学習「グローバルキッズクラブ」事業(文部科学省後援事業) 子どもたちの自然体験・理科実験などの体験学習活動を推進するため、さまざまなプログラムを開発するなど、自然体験活動の充実に向けた支援活動。</p> <p>大学公開講座事業(文部科学省後援事業) 先進科学の第一線で活躍する大学教授や研究者の指導を小中学生の子どもたちに提供する活動。</p> <p>ファミリーフォーラム事業(文部科学省・厚生労働省後援事業) 家族や地域社会のあり方を考えるシンポジウム活動や、出版活動を行うことを通して、「子育てを社会で支える」ための市民ネットワークの構築を目標とする活動。</p> <p>全国新学力テスト事業 従来の知識偏重・暗記型学習を改善するため、思考力や考える力の育成を目標とした新しい学力テストと評価方法を提案する活動。</p> <p>各事業に関連する教材制作事業 新しい教育観に基づいた「思考力や考える力の育成」を図る教材の研究・開発をすすめる活動。</p>		
団体の活動プロフィール	<p>海外子女支援事業 海外に駐在する日本人家庭の子女の教育相談などを支援する活動。</p> <p>教育シンポジウム事業(文部科学省協力事業) 教育改革について論議を広げるため、全国各地での講演会・討論会等を実施する活動。</p> <p>国際理解教育(英会話)民間協力事業(文部科学省委嘱事業) 文部科学省委嘱事業「地域ですすめる子ども外国語学習」を全国各地実施し、公教育と民間教育の協力関係を進めていく活動。</p>		
財政	活動事業費 (平成13年度)	429,057千円	

団体名	NPO 特定非営利活動法人 教育支援協会 中国地区本部	担当者名 須田正則
-----	--------------------------------	--------------

〔政策提言の内容〕

* 政策分野・手段の番号は参考資料をもとにお書きください。

政策のテーマ	高屋川水質改善「この川に蛍を呼びもどす」活動 人体有害物質摂取を阻止する活動	
政策の分野	番号	環境パートナーシップ
政策の手段	番号	環境教育の推進 活動・組織

政策の目的

広島県下ワースト“1”の高屋川の水質改善

石油化学有害物質を家庭排水として流さない、また有害な生活日用品を通じて有害な化学物質が人体に入らないように安全な製品に切り替える運動。

提言を行うこととなった背景および現状の問題点

広島県下でもっとも汚れた川という不名誉なレッテルを貼られて久しい。水質汚濁の最大の問題は『家庭排水』にあることは明かです。

しかし、この現実に対して抜本的な解決策は出てきておらずまた、活動する基金として十分なものが確保出来ないなどの理由で住民、町民をあげての運動や活動はなかった。

この家庭排水の大きな問題として取り上げたい物質は環境にダメージを与える以前に、人体に有害で深刻な影響を与えているという点があげられる。

家庭洗剤、シャンプー、石鹸その他に入っている石油化学有害物質などが知らず知らず人体に蓄積させているという現実を目を背けるわけには行きません。

高度成長時代に植物や石炭から石油に依存した製品群、その中に含まれる有害毒物。動物実験を行い、少量ずつ、しかし継続的に蓄積されている毒物の除去を提案します。

政策の概要

先にも述べたように河川を汚す最大の原因は家庭排水にあります。一時は滋賀県を中心に「リン」を排除する運動が起こり、現在では「無リン」洗剤が主流です。しかし、これであたかも無害と思われるがちですが、そこには大きな落とし穴がありました。

身の回りにある漂白剤や合成洗剤などは、確かにこれらを利用すればしつこい油やカビが簡単に落とせて便利です。しかしその洗浄力が人の皮脂まで達し皮膚障害や内臓にまで大きな影響を及ぼしてきています。

この度の提案はEM菌を用いて、家庭排水から浄化し微生物群の力を借りて、その流れ着く高屋川の水質改善をはかり、2年後には高屋川に蛍を呼びもどそうとする運動を起こしています。

<EM菌 Effective Micro-organisms の活用>

琉球大学の比嘉教授が発見し開発した「有効微生物群」はさまざまな有効な働きをする光合成菌や放射菌、酵母菌、乳酸菌などを組み合わせたものです。この培養液を使い家庭の台所やトイレ風呂などで活用します。また使用後のEM菌は排水として下水に、そして高屋川に流れ込んでいきます。その結果高屋川そして本流の芦田川へも浄化された水を注ぐ川として生まれ変わらせル運動を起こそうとしています。もちろん、EM菌は人畜無害ですので安心して各家庭でも思量することができます。

このEM菌の原液を各家庭に無料で配布し、米のとぎ汁で培養しその培養液で水周りを浄化し、なおかつその排水を高屋川に流し込むという計画です。

現在、神辺ライオンズと社会福祉法人 一れつ会せんだんの家が中心となり、神辺町およびその周辺の家庭に無料で配布し、実施しようとしています。一人では効果は現れにくいかもしれませんが、全家庭の協力があれば必ず「高屋川は浄化されてくる」のです。

<あまりにも知らない環境問題・知らせることの大切さ>

環境問題、環境ホルモンなど身の回りには新聞記事や報道などで耳にするけれども、我が家の生活には直接関係がないと思われている方があまりにも多いのが現実です。こういった意識が原因で、少くくなら...という積み重ねによりここまでできてしまった現実を認識してもらうこと、また「遅すぎることはない」ことも知らせていくことが重要な活動だと思います。

また、人体に有害な石油化学物質が家庭で使われる洗剤、肌に触れるシャンプー、歯磨き剤などに含まれていることも知らされていません。製品の裏に表示されている成分は有害とも有効成分とも書かれていません。

その中でも保湿剤として使われている「プロピレングリコール」、発泡剤として使われている、「ラウリル硫酸ナトリウム」などは典型的な例です。これらは有害物質であり、動物実験をしてその許容量を試して混入していると言う事実です。多くの消費者はその化学成分の内容も知らずまた有効成分と思い違いをしたりしていることは現実として捕らえなければならないでしょう。しかし、環境先進国アメリカにはそういった身の回りの製品に対しても非常に厳しい目をもって環境問題にも本気で取り組んでいるメーカーがあります。

Neways という会社は世界でもわずか 4 社しかない「Non Animal Testing」を実行しているメーカーです。動物実験は有害物質の許容量を定める実験です。それにより多くのウサギや小動物がその人間の身勝手な実験の犠牲にもなっていることを忘れてはいけません。本当に安全で人体や環境に対する情報を全てオープンにしている会社の製品を使って EM 菌と併用して活用することで一層意識も向上し、成果も上がりやすくなるものと思います。

このような私たち人体と周りの環境に、もっと一人一人が関心を持ち自らを守り、過ごし易い環境を取り戻すためには意識の変革が欠かせないのです。

そういった運動は「環境に関する講演会」や「学習会」などを通じて官と民とがいいパートナーシップを保ちながら住民と手を取り合って進んでいかなければ、一ター朝には環境問題は解決しません。そのために私たちは NPO として積極的にか関わっていく所存です。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートをつけてください）

町民一人一人の小さな活動で「1 トンの EM 菌液」を高屋川に投入
チャート流れは別紙添付資料をご覧ください。

Neways 「ニューウェイズ」製品の環境に対する考え方と製品の安全性

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

政策実施主体：NPO 特定非営利活動法人 教育支援協会中国地区本部
提携・協力：神辺ライオンズクラブ 環境保全委員会・一れつ会せんだんの家

政策の実施により期待される効果

高屋川の淀んだ、濁った水に魚が戻り、上流にほたるがもどって来られるような水質に戻すことがゴールです。

この EM 菌を使った水質浄化の例は、岡山県井原市、福山城の池のアオコを無くしコイが見えるようにしたケースや青森県弘前城の浄化などでめざましい成果をあげてきていることをみても時間的、量的に十分な量を使い込むことで流水系である川にも成果があると思われる。

また、人体と環境に有害な物質を含んだ製品の排除とリプレイス（置き換え）をすることにより消費者の家庭洗剤・皮膚に施すものなどに対する安全神話に対する警鐘をならし、自分自身と環境に向けた洞察力をもたらせるような講演や勉強会を通じて個人レベルの意識を向上できるものと思います。

パンフレット等添付資料名

- (1) 「高屋川の浄化活動をしています」 --- 配布資料 (EM 菌活用)
- (2) 「私たちひとりひとりの心がけが美しい地球を守ります」 (EM 菌活用)
- (3) 「比較するものがあって本当の価値がわかります」 (Neways 製品で有害物質を排除)